

科目ナンバリング		U-LAS21 20006 SO48										
授業科目名 ＜英訳＞		ドイツ語II B D2159 Intermediate German B					担当者所属 職名・氏名		非常勤講師 福田 寛			
群	外国語科目群				分野(分類)					使用言語	日本語	
旧群	C群	単位数	2単位		週コマ数	1コマ		授業形態	演習（外国語）（対面授業科目）			
開講年度・ 開講期	2025・後期		曜時限	水5			配当学年	2回生以上		対象学生	全学向	
[授業の概要・目的]												
初級文法の知識をベースにドイツ語の読解力の養成を図る。また、外国語の学習習慣の見直しも意識的に試みる。												
[到達目標]												
一定水準のドイツ語のテキストを主体的に読みこなせるようになる。												
[授業計画と内容]												
映画『東ドイツから来た女』（2012年、原題Barbara）を鑑賞しながら、同時進行でドイツ語の台本を毎回部分的にピックアップして読む。映画は東ドイツ時代の田舎町を舞台として淡々と進んでいく。日常のなかに監視する側と監視される側がいる。病院で小さな症候に注意を払う医師たちがいる。映画を見ている者も表に出ない心の変化に気を配りながら見る。そのような映画の台本を、当時の歴史的状況に思いを巡らせながら読み、ドイツ語を読む力を養う。丁寧な予習が不可欠で、自らの外国語学習のリズムを見つめ直す機会にしてもらいたい。												
1．ガイダンス 2～4．テキスト(1)～(3) 5．(1)～(3)のおさらい 6～8．テキスト(4)～(6) 9．(4)～(6)のおさらい 10～12．テキスト(7)～(9) 13．(7)～(9)のおさらい 14．試験にむけた準備												
試験後の「フィードバック」については、別途連絡する。（基本的には、フィードバック時間に、教室で自習に基づいた質問を受ける予定です。時間が残れば関連の映画を見ます。）												
[履修要件]												
「全学共通科目履修の手引き」を参照してください。												
[成績評価の方法・観点]												
成績評価は、原則として、学期末の試験による。ただし、学習習慣の確立も重要なので、1割程度、受講の姿勢も加味する。（平常点は受講姿勢が10割で、考え方は以下の通り。）												
予習がなされていること、出席票の記入がしっかりとできていることを重視します。 予習は、「分からない状態」を縮減するためにできる努力をしてください。そうして予習したものに結果的にまだ間違いがあることは問題ではありません。 機械翻訳、生成AIに学習そのものを代わってもらうことはできません。それらの利用は控えてください。												
欠席を減点の対象とすることはしないものの、出席することでリズムが生まれ、気づきや定着に												
ドイツ語II B D2159(2)へ続く↓↓↓												

ドイツ語ⅡB D2159(2)

つながり、最も無理なく学習できて、結果的には評価にもつながるはずなので、出席を心がけてください。

共同学習の雰囲気とルールを大事にするという観点から、私語、スマホ操作、居眠り、予習不足（予習に間違いがあるという意味ではありません）、出席票の不十分な記入や未提出といったものは評価に含めます。

[教科書]

“ Barbara ”（プリントを配布します）

[授業外学修（予習・復習）等]

発音を確かめる、語義を確かめる、文法を理解するといった角度から文章を丁寧に読む予習が不可欠です（標準：1，2時間程度）。分からないところがあるときの対処の仕方が分かってくることが、学習の質的向上につながります。

とにかく辞書と仲良くすることが重要です。しかしまた、辞書で語義を見たらあとはそこから文意を想像するだけになってしまうと、外国語学習としては崩れてきますので、これまで使ってきた初級文法の教科書も随時参照するようにしてください。

テキストの理解が進んできたら、気軽に試験までに何周かするつもりで復習して定着を図ります（忘却曲線を念頭に置いた忘却の回避、細部に気を配った理解と定着）。

[その他（オフィスアワー等）]

初級（文法）の単位取得が前提となります。一通り文法を学んでいるという前提のもとで、不確かなところを再確認するようなかたちで進んでいければと考えています。

[主要授業科目（学部・学科名）]